

(様式3)

自己評価結果票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>グループホームとして「魚崎の地で、ともに楽しく自分らしく暮らしましょう。」という独自の理念を掲げている。</p>	<p>地域密着型サービスの意義を職員全員で確認を行い、よりよいサービスを実現していく。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>運営理念、運営方針とともに玄関・スタッフルームに掲示している。サービス十か条を朝礼時に唱和し、確認を行っている。</p>	<p>サービス十ヶ条は、朝礼時に唱和していく。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>施設内に掲示、訪問時に説明をしている。家族会にて報告・説明している。</p>	<p>家族会にて理念の説明をいつも行っていく。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>日々の散歩や買物、受診時に気軽に近隣の方と挨拶を交わしている。</p>	<p>日々の散歩や買物、受診時に気軽に近隣の方と挨拶を交わしていきたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域のお祭り、盆踊りの参加をしている。婦人会の方が盆踊りの練習の際に教えに来て下さっている。</p>	<p>地域のお祭り、盆踊りに参加していきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	実習生の受け入れを積極的に行っている。	地域見守り隊の腕章を借り、散歩時などに地域の役に立ちたいと検討中です。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	できていないことをできるように改善している。評価結果をもとに、よりよいサービスの向上・改善に活かしている。	第三者評価結果をもとに、職員全員で改善していく。
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	活動の報告、意見を頂戴し、介護へ反映するよう努めている。	地域密着を目指し、グループホームで取り組んでいる内容を報告し、意見をいただいている。
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	神戸市営住宅型グループホームのため、絶えず神戸市・住宅局とも連携をとっている。	地域密着型を推進するため、入居に関して、体験等神戸市と協議し、取り組みたい。
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	成年後見制度について職員に説明、アドバイスが徹底されていない。	成年後見制度について学んでいき、理解する。
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	全体会議において、虐待や拘束について研修を行っているが、グループホームでは行っていない。	グループホームの職員会議で取り組んでいきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		<p>家族様に理解・納得していただけるよう十分な時間を作り、分かりやすく説明・明示することで同意を得ている。重要事項説明書、契約書をホーム内に掲示している。</p> <p>家族様に理解・納得していただけるよう十分な時間を作り、分かりやすく説明・明示することで同意を得ていきたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>早急に管理者へ報告している。内容を報告書にまとめ施設長に提出、年2回の委員会で提示し、民生委員などの第三者から意見を求め、解決を図るよう努めている。</p> <p>早急に管理者へ報告し、内容を報告書にまとめ施設長に提出、年2回の委員会で提示し、民生委員などの第三者から意見を求め、解決を図るよう今後も努めていきたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		<p>月1回のお手紙、面会時に報告している。また、気になることがあれば、その都度電話での報告を行っている。</p> <p>月1回のお手紙、面会時に報告し、また、気になることがあれば、その都度電話での報告を行っていききたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>苦情シートを活用している。</p> <p>苦情シートを活用していく。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		<p>その都度、意見や提案を聞いていただいている。定期的な会議の際にも聞いていただける機会を設けている。</p> <p>定期的な会議の際にも聞いていただける機会を設けていきたい。アンケートも実施していきたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		<p>日勤は常に職員3名確保、夜勤者は1名である。状態・状況に応じて勤務時間の変更も行っている。</p> <p>入居者様の状態・状況に応じ、今後も勤務時間の変更を行っていききたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	なるべく馴染みの職員が長く同じ部署で働ける体制を整えている。		なるべく馴染みの職員が長く同じ部署で働ける体制を整えていく。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症対応型研修等、研修への参加をすすんで行っている。		研修への参加をすすんで行っていきたい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会の実施を行い、他グループホームとの交流を図り、サービスの向上を目指していく。		グループホーム連絡会の実施を行い、他グループホームとの交流を図り、サービスの向上を目指していきたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩は入居者様と離れてとっている。管理者と気軽に話のできる体制を整えている。		休憩は入居者様と離れてとり、管理者と気軽に話のできる体制を整えていきたい。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	ケアマネージャー、介護福祉士、社会福祉士など資格取得に向けた勉強会を行っている。		ケアマネージャー、介護福祉士、社会福祉士など資格取得に向けた勉強会を今後も行っていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面接時にできるだけ本人の困っていることなどをお聞きし、気軽に本人様より話していただける雰囲気作りをしている。</p>	<p>面接時にできるだけ本人の困っていることなどをお聞きし、気軽に本人様より話していただける雰囲気作りをしていきたい。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>いつでも相談を受けられる体制を作っている。家族様とともに改善に向けての話し合いをその都度行っている。特に、入居間もない方の家族様には、頻りに連絡をとることにしている。</p>	<p>いつでも相談を受けられる体制を作り、家族様とともに改善に向けての話し合いをその都度行っていく。特に、入居間もない方の家族様には、頻りに連絡をとるようにしていきたい。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受け、助言を行い、必要であれば他サービスの利用への対応も行っている。</p>	<p>相談を受け、助言を行い、必要であれば他サービスの利用への対応も行っていきたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族様から十分にお話を聞き、馴染んでいただける環境作りに努めている。昔から使っておられる馴染みの家具や置物を持って来ていただき、安心して過ごせる空間を作っている。</p>	<p>入居前に見学に来ていただいているが、一日一緒に過ごしていただく等行っていきたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>何事も常に一緒に取り組み、同じ立場となって生活している。利用者様からの教えもたくさんあり、ともに支え合うことで、良い関係を築いている。</p>	<p>何事も常に一緒に取り組み、同じ立場となって生活していきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 利用者と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	面会時には、必ず話のできる時間を作り、何気ない会話の中からお互いの思いを共有している。		面会時には、必ず話のできる時間を作り、何気ない会話の中からお互いの思いを共有していきたい。
29 利用者や家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様と家族様の関係を大切にし、お互いに話のできる機会を作り、より良い関係が保てるよう常に支援している。年1回の家族会での交流や誕生会へのお誘い、行事や遠足などの参加等、様々な機会を提供している。		利用者様と家族様の関係を大切にし、お互いに話のできる機会を作り、より良い関係が保てるよう常に支援していきたい。また、年1回の家族会での交流や誕生会へのお誘い、行事や遠足などの参加等、様々な機会を今後も提供していきたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	職員とともに馴染みの場所に出かけたり、面会時に馴染みの人にお会いできる体制をとっている。		職員とともに馴染みの場所に出かけたり、面会時に馴染みの人にお会いできる体制をとっていく。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	いつも職員が間に入るのではなく、利用者様同志の関わり合いを大切にしている。時に良い関係が保てるよう、職員が間に入り、うまく支え合っ生活ができるよう支援している。		いつも職員が間に入るのではなく、利用者様同志の関わり合いを大切にしていきたい。時に良い関係が保てるよう、職員が間に入り、うまく支え合っ生活ができるよう支援していきたい。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族様に様子を伺っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人様の意向を多く取り入れたケアプラン作りに努めている。日々いつでも希望を気軽にお聞きできる環境作りに努めている。自分の思いが十分に言葉にできない方も行動や言葉の端々でその思いを汲み取る努力をしている。</p>	<p>本人様の意向を多く取り入れたケアプラン作りに努めていく。日々いつでも希望を気軽にお聞きできる環境作りをし、自分の思いが十分に言葉にできない方も行動や言葉の端々でその思いを汲み取る努力をしていきたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>今までの生活歴を入居時にお聞きし、職員全員に報告し、把握している。</p>	<p>利用時に自宅訪問、バックグラウンドの活用、お聞きした昔の情報をもとにその人らしくその人の力が十分に発揮できる場を作っていく。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>居室でおられる時も常に気に掛け、状態の把握を行っている。少しの変化にも気付けるよう、日々の生活状態を把握している。本人様のできることをよく見極めるよう職員全体で努めている。</p>	<p>居室でおられる時も常に気に掛け、状態の把握を行っていききたい。少しの変化にも気付けるよう、日々の生活状態を把握し、本人様のできることをよく見極めるよう職員全体で努めていきたい。</p>
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>居室担当会議を定期的に行い、それをもとに全体会議で他職員の意見を求めている。ケアプランを作成し、家族様の同意を得ている。</p>	<p>今後も入居者様・家族様の思いを反映したケアプラン作りをしていきたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヵ月に一回、ケアプランの見直しを行っている。入居間もない方や退院直後の方には、その都度見直しを行っている。</p>	<p>3ヵ月に一回、ケアプランの見直しを行っている。入居間もない方や退院直後の方には、その都度見直しを行っている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者気付きノートを活用、出勤時には全職員が通読している。毎日、介護日誌・職員日誌・ケース記録を記入し、日々の記録を行っている。</p>		<p>入居者気付きノートを活用、出勤時には全職員が通読する。毎日、介護日誌・職員日誌・ケース記録を記入し、日々の記録を行っていく。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>市営住宅型なので、制限はあるが、利用者様の日々の変化に対応した支援を行なっている。</p>		<p>認知症介護の経験を活かし、ショートステイ・デイサービスができるように、今後、市と話し合いをすすめたい。</p>
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>お誕生日などの行事に様々なボランティアの活用を行っている。毎月、華道・書道・折紙・お料理などのボランティア様が来て下さっている。また、地域の子供たちもよく来所してくれている。運営推進会議には、必ず民生委員さんの出席があり、協力をいただいている。</p>		<p>お誕生日などの行事に様々なボランティアの活用を今後も行っていきたい。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>必要に応じて、いつでも話のできる体制を整えている。</p>		<p>必要に応じて、いつでも話のできる体制を整えていきたい。</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議に参加していただいている。</p>		<p>運営推進会議に参加していただくよう努める。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間対応して下さる主治医がいる。常に連携を図り、指示や助言をもらっている。		24時間対応して下さる主治医がいるため、常に連携を図り、指示や助言をもらうよう努めていきたい。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	月2回、定期往診に来て下さる医師が在宅で暮らす老人に理解があり、また協力病院があり、対応していただいている。		月2回、定期往診に来て下さる医師が在宅で暮らす老人に理解があり、また協力病院があり、対応していただいているため、今後も継続していきたい。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	いつでも相談のできる他部署の看護職員がいる。特変時には、すぐに来て下さっている。		いつでも相談のできる他部署の看護職員がいるため、特変時には、すぐに来てくれるような体制をとっていきたい。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	家族様と相談し、希望を聞きながら入院中、退院に向けて施設長、介護職、家族、病院の医師との連携を図り、なるべく早く退院できるよう支援している。		家族様と相談し、希望を聞きながら入院中、退院に向けて施設長、介護職、家族、病院の医師との連携を図り、なるべく早く退院できるよう今後も支援していきたい。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化して、グループホームでの生活が困難になりつつある方に対して、家族様と施設で話し合いを勧めている。		重度化して、グループホームでの生活が困難になりつつある方に対して、家族様と施設で話し合いを勧めていきたい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	常に主治医との連携を図っている。今後の変化に備えて家族様と十分な話し合いを行っている。		今後、主治医ともっと話し合いを進め、終末期をグループホームで過ごしたい方に対して、支援ができる体制を検討してしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	十分に生活状況を伝え報告し、情報交換を行っている。		受け入れ先の職員ともっと話し合いを進め、本人様の次の施設の見学等、積極的に行っていききたい。
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に年長者、人生の大先輩であることを忘れずに、言葉かけ、対応を行っている。どのような状態でも否定せずに、思いを受け止めて一人ひとりに合った適切な対応を行っている。		常に年長者、人生の大先輩であることを忘れずに、言葉かけ、対応を行っていく。どのような状態でも否定せずに、思いを受け止めて一人ひとりに合った適切な対応を行っていききたい。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	何事も利用者様一人ひとりのペースに合わせ、せかすことなく、その時々状態に合ったケアを行っている。必ず本人様に思いを聞き、寄り添い、一緒に取り組んでいる。本人様のお好みメニューの日を決めて、その日は食事のメニューを決めていただいている。		何事も利用者様一人ひとりのペースに合わせ、せかすことなく、その時々状態に合ったケアを行っていく。必ず本人様に思いを聞き、寄り添い、一緒に取り組んでいく。本人様のお好みメニューの日を決めて、その日は食事のメニューを決めていただくようにする。
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的に1日の流れはあるが、3F入浴がゆっくりの方、買物に行きたい方、タバコが吸いたい方など、人によって個別に支援している。		一人ひとりのペースを大切にし、その人らしい暮らしの支援を今後も続けたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に理美容院へ行っている。希望に合わせて毛染めのため美容院へ出かけている。行き慣れた馴染みの店なので喜んで下さっている。また、本人様の希望に添ったその方らしい服装の支援を行っている。		定期的に理美容院へ行き、希望に合わせて美容院へ出かけるようにする。また、本人様の希望に添ったその方らしい服装の支援を今後も行っていききたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>食事作りが難しい方の対応として座っていただけたことや、簡単なことを常に考え支援していく。</p>
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>買物日にお好きなものを購入することを続けたい。毎日の嗜好品も注文できるように、このまま継続したい。</p>
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		<p>失禁の多い方や、リズムがつかみにくい方など、排泄チェック表の記入を行っている。排泄パターンに合ったトイレ誘導を行っている。周囲の方、本人様にはもちろん気を配り、さりげない誘導を行っている。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>ゆっくりと入浴していただける支援を大切にしていきたい。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		<p>どうしても眠れない方のみ睡眠導入剤を服用されている。眠れない方には、温かい飲み物やパン等も提供している。</p>
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>個別に役割を作り、積極的にしていただいている。花の水やり、食事作りなど、その人に合った楽しみごとを多く作れる機会を作っている。</p> <p>花の水やり、食事作りなど、その人に合った楽しみごとを多く作れる機会を作っていく。</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物の時は、なるべくご自分でお金を払っていただくなど、できる限り支援している。		買物の時は、なるべくご自分でお金を払っていただくなど、できる限り支援していく。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、散歩に出かけ、お誕生日などの日は外出・外食などを行っている。		天気の良い日は、散歩に出かけ、お誕生日などの日は外出・外食などを行っていきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族様の了解を得て、花見や梅見など、利用者様の行きたい場所をお聞きし、できるだけ実現に向けて取り組んでいる。季節ごとの外出を多く作っている。家族様にも気軽に参加できる雰囲気作りをしている。		家族様の了解を得て、花見や梅見など、利用者様の行きたい場所をお聞きし、できるだけ実現に向けて取り組んでいく。季節ごとの外出を多く作り、家族様にも気軽に参加できる雰囲気作りをしていきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要な方のみ居室に電話をつなげ、いつでも電話のできる体制となっている。居室に電話のない方の家族様への電話の希望者は、状況を見ながら、スタッフルームでお話していただいている。		居室に電話のない方の家族様への電話の希望者は、状況を見ながら、今後もスタッフルームでお話していただくようにする。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも面会に来ていただけるようにしている。常に笑顔でお迎えしている。気軽に来ていただけるような雰囲気作りをしている。		職員全員が、家族様の訪問を本人様と一緒に待ち望んでいるような雰囲気を作っていきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を定期的に行っている。日々の申し送りや勉強会で、職員の共有認識を図っている。		身体拘束委員会を定期的に行っていく。日々の申し送りや勉強会で、職員の共有認識を図っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	安全面に配慮して日中・夜間ともに玄関に鍵をかけている。利用者様一人ひとりの状態に合わせて、一緒に外に出れるような支援をしている。		今後鍵をかけないで、自由な暮らしができるよう支援していきたい。
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	どんな状況であっても、できる限り行動の把握を行い、安全面に配慮している。		どんな状況であっても、フロア対応がしっかりとできる限り行動の把握を行い、安全面に配慮していく。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者様一人ひとりの状況によって注意を払い、安全面に配慮している。		今後、認知度が高くなっていく利用者様に対して特に状況変化を察知し、安全面に配慮していく。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急マニュアルを作り、全職員が把握している。誤嚥、意識不明など起こりうる確率の高い方に対するの対応を取り決めている。利用者様一人ひとりの緊急ファイルを作成している。		緊急マニュアルを作り、全職員が把握していく。誤嚥、意識不明など起こりうる確率の高い方に対するの対応を取り決め、研修で実践練習をさらに行っていく。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的な勉強会を朝の申し送り時に行っている。看護師の協力を得て、研修を行っている。		定期的な勉強会を朝の申し送り時に行い、看護師の協力を得て、研修を行っていく。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、防災・非難訓練を行っている。毎日、防火管理点検表のチェックをしている。シルバーハウジングの方とも協力して防災訓練を行っている。		年2回、防災・非難訓練を行っていく。毎日、防火管理点検表のチェックをしていく。今後もシルバーハウジングの方と協力して防災訓練を行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族様に転倒、誤嚥などリスクについて説明させていただいている。家族様によっては転倒を心配するあまり、車椅子使用など言われる方に対して、取り組みを説明させていただいている。		リスクについて説明するとともに、グループホームでの取り組みにも理解していただく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の状態を把握しており、ちょっとした変化や異変に早急に対応できる体制を作っている。バイタルチェック、変化時の記録を細かく記入している。主治医、協力病院との連携、看護師へ相談を行っている。		バイタルチェック、変化時の記録を細かく記入していく。主治医、協力病院との連携、看護師への相談を今後も行っていきたい。
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に医師との連携を図り、正しく服薬できるように支援して、間違いのないよう毎回チェックを行っている。薬の説明書に必ず目を通し、内容を把握している。服薬時には、本人様に手渡し、きちんと飲まれるまで確認を行う。		常に医師との連携を図り、正しく服薬できるように支援して、間違いのないよう毎回チェックを行っていく。薬の説明書に必ず目を通し、内容を把握していく。服薬時には、本人様に手渡し、きちんと飲まれるまで確認を行っていく。
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日、適度の運動を促したり、水分を多く摂っていただいたりして、なるべく自然排便を心がけている。お腹のはりが見られる方には、腹部マッサージをしている。		毎日、適度の運動を促したり、水分を多く摂っていただいたりして、なるべく自然排便を心がけていく。お腹のはりが見られる方には、腹部マッサージをしていく。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後に歯磨き、イソジンでのうがいをを行い、清潔保持に努めている。必要な方の歯間ブラシの使用、うまくできない方に対しては、職員が介助している。義歯の方は、定期的にポリドント洗浄を行っている。毎食後の手入れを目標とする。		夕食後に歯磨き、イソジンでのうがいをを行い、清潔保持に努めていく。必要な方の歯間ブラシの使用、うまくできない方に対しては、職員が介助していく。義歯の方は、定期的にポリドント洗浄を行い、毎食後の手入れを目標としたい。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事摂取量のチェックを行っている。毎食トータルで栄養バランスを考えながら、献立作りをしている。なるべく多く水分を摂っていただき、拒否される方には、好きな飲み物をすすめたり、時間を見ながら少しずつ飲んでいただけよう促している。		毎日、食事摂取量のチェックを行っていく。毎食トータルで栄養バランスを考えながら、献立作りをしていく。なるべく多く水分を摂っていただき、拒否される方には、好きな飲み物をすすめたり、時間を見ながら少しずつ飲んでいただけよう促していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルを作成している。インフルエンザの予防注射をしている。ウイルスの慢洩時のマニュアルがあり、実行している。ノロ対策セットを用意しており、すぐに使用できるようにしている。外出後・食事前に手洗い、うがい、手指消毒を行うよう支援している。		ノロ対策セットを用意し、すぐに使用できるようにする。外出後・食事前に手洗い、うがい、手指消毒を行うよう支援していく。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に冷蔵庫の整理を行い、定期的な掃除をしている。布巾は、定期的に変換、その都度煮沸消毒をしている。食材によって、まな板を区別し、使用後は漂白剤で消毒をしている。食品・調理器具は高温で、食器洗い器を使用している。毎日の食材の仕入れを行っている。		常に冷蔵庫の整理を行い、定期的な掃除をしていく。布巾は、定期的に変換、その都度煮沸消毒をし、食材によって、まな板を区別し、使用後は漂白剤で消毒をしていく。食品・調理器具は高温で、食器洗い器を使用していく。毎日の食材の仕入れも行っていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭的な雰囲気を心がけている。観葉植物やお花を飾っている。家で使用しているようなスリッパを使用している。		家庭的な雰囲気を心がけ、観葉植物やお花を飾っていく。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食事作りの音やにおいを感じていただいている。好きな音楽、テレビなど適切にかけている。自然に触れる機会を多く作り、散歩のできない日は、テラスでの日光浴を楽しまれている。手書きの表札を付け、その周りに季節を感じていただける手作りのものを飾っている。季節に合った貼り絵、歌の歌詞を書いたポスターを飾っている。		好きな音楽、テレビなど適切にかけていく。自然に触れる機会を多く作るよう心がける。また、季節に合った貼り絵、歌の歌詞を書いたポスターなど、利用者様と一緒に考えていく。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の空所にソファやベンチを設置している。そこで、一人で過ごしたり、仲の良い方同士がくつろげるスペースを作っている。		一人でおられる場所作りを今後も大切にしてい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔から使われていた家具や置物などを持って来て使用していただき、安心して居心地よく過ごせる空間を作っている。		昔から使われていた家具や置物などを持って来て使用していただき、安心して居心地よく過ごせる空間を作りたい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の掃除の際、必ず全ての窓を開け、換気を行っている。全居室、共用部に数ヶ所、室温計を設置し、常に室温管理を行っている。空気の入替えを適切に行い、また、エアコンを使用している。		朝の掃除の際、必ず全ての窓を開け、換気を行っていく。全居室、共用部に数ヶ所、室温計を設置し、常に室温管理を行っていく。空気の入替えを適切に行い、また、エアコンを使用していく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関先にソファを置き、座って靴を履き、脱いでいただいている。キッチン、利用者様に合わせて低くなっており、使いやすくなっている。ホーム要所に手すりや備え付けられている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの状況に合わせて、環境整備を行っている。居室の入口の表札など特に分かりにくい方に対しては、目印をつけるなどして工夫している。混乱をまねかないよう、さりげないケアに努めている。		今後も一人ひとりの状況に合わせて、環境整備に取り組んでいきたい。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	テラスでの洗濯、季節の花を育てたり、野菜の収穫を行っている。おやつを召し上がられたり、日なたぼっこを楽しまれている。正面玄関や隣のケアハウスへお花を摘みに行っている。		テラスでの洗濯、季節の花を育てたり、野菜の収穫を行っていく。ベランダの活用や施設の敷地内での活動を続けていきたい。

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

施設内に閉じこもりにならないように、天気の良い日は必ず散歩に出掛けている。残存機能を大切にして、すぐに手を出すのではなく、まずは見守りケアを行っている。利用者様一人ひとりの役割を作り、はりのある生活作りを心がけている。ボランティア様の活用、季節ごとに花見などに出掛け、季節を体で感じていただく機会を多く作っている。職員も利用者様もお互いに笑いの絶えない日々を過ごせるよう支援している。